

Express5800/CS
(N8100-802/N8100-805 (A) /N8100-906/N8100-1011/N8100-1012
/N8100-1096/N8100-1141/N8100-1345/N8100-1346/N8100-1462/N8100-1463
/N8100-1561/N8100-1562/N8100-1641/N8100-1703)

オンラインアップデート手順書

2011 年 4 月 第 7 版

1. 概要	2
2. アップデートを行うにあたっての注意事項	2
3. アップデート手順.....	2
4. アップデート適用済み環境で再セットアップとリストアを実施する際の注意事項.....	11

1. 概要

本手順書は、Express5800/CS (N8100-802/N8100-805/N8100-906/N8100-805A/N8100-1011/N8100-1012/N8100-1096/N8100-1141/N8100-1345/N8100-1346/N8100-1462/N8100-1463/N8100-1561/N8100-1562/N8100-1641/N8100-1703) (以下、CS と略す) において、オンラインアップデート機能を利用してアップデートを行うための手順書です。

2. アップデートを行うにあたっての注意事項

- ・ 必ずこの手順書に沿って作業を行ってください。この手順以外でのアップデートは誤動作の原因となる場合があります。
- ・ CS にプロキシを介さずに接続できるマシンを用意してください。
- ・ Management Console を起動する場合には、ブラウザとして Microsoft Internet Explorer6、7、8 (日本語版) を推奨します。
- ・ Management Console に表示されるモジュール名と本手順書の図の中のモジュール名は異なる場合がありますのでご注意ください。

3. アップデート手順

(1) Management Console の起動とログイン

ブラウザより「<https://CSサーバのIPアドレス:50453/>」へアクセスし、Management Console を起動してください (Management Console のセキュリティモードをレベル 1 に変更した場合は「<http://CSサーバのIPアドレス:50090/>」となります)。

Management Console のログイン画面 (図 1) が表示されましたら、[システム管理者ログイン] をクリックし、正しくログインしてください。

図 1. ログイン画面



(2) トップ画面

ログインが正しく行われますと、トップ画面(図2)が表示されます。
画面左のメニューより「パッケージ」をクリックしてください。

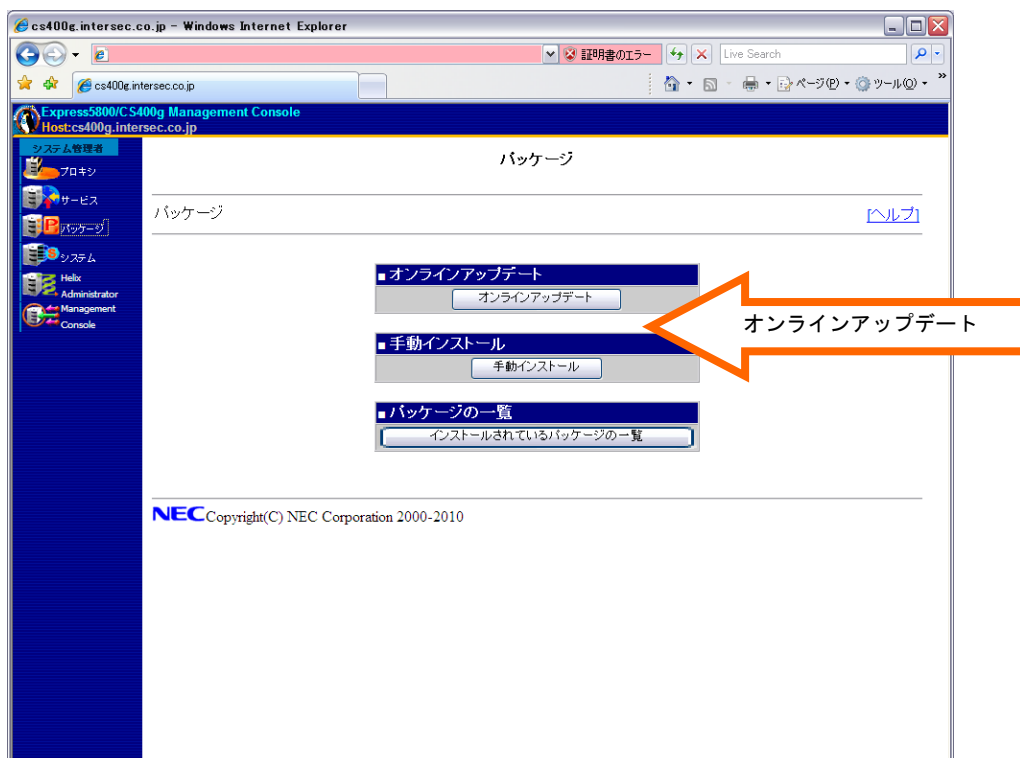
図2. Management Console のトップ画面



(3) パッケージ画面

パッケージ画面(図3)が表示されましたら、[■オンラインアップデート]の[オンラインアップデート]をクリックしてください。

図3. パッケージ画面

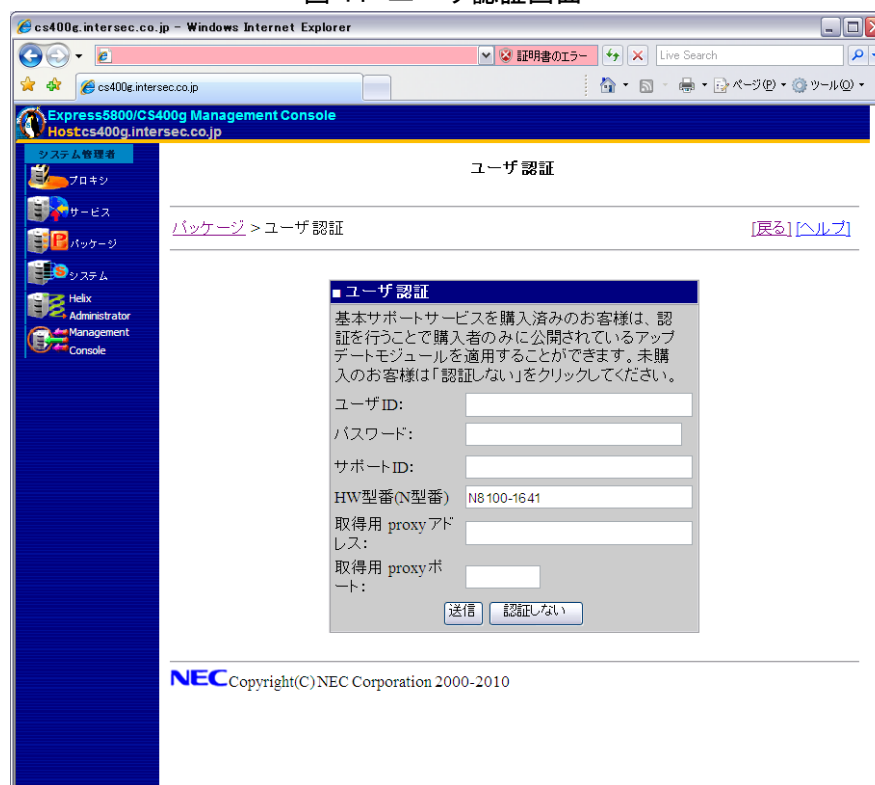


(4) ユーザ認証画面

過去にオンラインアップデートを使用したことのあるお客様は(5) アップデートモジュール一覧画面 が表示されます。

オンラインアップデートを初めて利用されるお客様は、下記画面が表示されます。

図4. ユーザ認証画面



上記の画面では、各機種(バージョン)毎に入力事項等が異なりますので以下をご確認ください。

■CS400g (N8100-1641) /CS400h (N8100-1703)

認証情報を入力し「送信」をクリックして次へ進んでください。

■CS300g (N8100-1561) /CS500g (N8100-1562)

- ・「Express5800/CS シリーズ (N8100-1561/N8100-1562) Ver7.3-48 アップデートモジュール」以降のアップデートモジュールを適用済みのお客様は、新しい認証機能が有効となっておりますので、認証情報を入力し「送信」をクリックして次へ進んでください。
- ・「Express5800/CS シリーズ (N8100-1561/N8100-1562) Ver7.3-48 アップデートモジュール」以降のアップデートモジュールを未適用のお客様は、最新のアップデートモジュールを適用することで新しい認証機能が有効となりますので「認証しない」をクリックして次へ進んでください。
これにより、サポートサービスを購入されているお客様は認証によって、公開されている最新のモジュールをご利用いただけます。

■CS300f (N8100-1462) /CS500f (N8100-1463)

最新アップデートモジュールを適用することで新しい認証機能が有効となりますので、「認証しない」をクリックして次へ進んでください。

これにより、サポートサービスを購入されているお客様は認証によって、公開されている最新のモジュールをご利用いただけます。

■上記機種より前の機種

基本サポートサービスの購入・未購入に関わらず「認証しない」をクリックして次へ進んでください。

※サポートサービス未購入のお客様は、認証ができないため、購入ユーザ向けに公開されているモジュールは参照できませんが、未購入ユーザ向けにも公開されているモジュールを「認証しない」ボタンによって参照・適用する事は可能です。

(5) アップデートモジュール一覧画面

アップデートモジュールが提供されているサーバに自動接続を行い、現在公開されているアップデート情報を表示します。(図5)

既にオンラインアップデートを実行されたことのあるお客様が最新の情報を表示するためには[最新情報に更新]をクリックする必要があります。

アップデートモジュールは適宜更新されます。そのため表示されるアップデートモジュール一覧は図5とは異なる可能性があります。

図5. アップデートモジュール一覧画面例

日付	概要	パッケージ名	適用	操作
2011/01/07	キャッシュサーバモジュールのアップデート ※アップデートによる追加機能について注意事項がございます。[適用]の前に必ずお読みください。→ [詳細情報]	roma-8.3-72 wbmccache-6.1-3 pound-2.2.5-1 cs4g nec9 roma_wbmccache_update_RHEL5.4U8	未 未 未 -	適用

NEC Copyright(C) NEC Corporation 2000-2010

[詳細情報]や、各パッケージ名をクリックすることで詳細な情報を参照することができます。特に[詳細情報]にはアップデートの適用に関して重要な注意事項が記載されていることがございますので、[適用]をクリックする前に必ずご一読ください。

[重要 1] CS300e (N8100-1345) / CS500e (N8100-1346) のアップデート適用について

※Management Console のログイン後のトップ画面下部にある機種名・型番を必ずご確認の上、本操作を行って下さい。

以下の両方の条件に適合する場合に限り、[適用]の前に特別な操作を行い、CS の動作を停止させる必要があります。

行わなかった場合、CSが正常に動作しない可能性がございますので、ご注意ください。

- ・ハードディスクが論理的に 2 台以上に見える構成の場合

ハードディスクを非 RAID 構成で 2 台以上搭載している場合や、RAID で論理ドライブを複数作成している場合が該当します。

- ・wbmccache パッケージのバージョンが wbmccache-3.1-55 未満の場合

必要な操作は以下のとおりです。

CS のコンソールから直接、あるいは telnet 経由でログインします。

login: mainte

Password: ←お客様が設定済みの保守用パスワードをご入力ください。

[mainte@host]\$ su -

Password: ←お客様が設定済みの管理者パスワードをご入力ください。

[root@host root]# /sbin/service roma stop

→プロキシ動作が停止します。

[root@host root]# /sbin/rmmod kc

[root@host root]# /sbin/lsmmod | grep kc

→何も出力されなければ問題ありませんが、

「kc ***** *」(*は任意の数字)が出力された場合は

もう一度/sbin/rmmod kc を実行し、出力されなくなるまで繰り返します。

ManagementConsole より[適用]を行い、画面に従い再起動します。

最新のアップデートモジュールを適用するには、[適用]をクリックしてください。

[重要 2] CS300e (N8100-1345) / CS500e (N8100-1346) / CS500b (N8100-1096) /
CS200c (N8100-1141) / CS500a (N8100-1011) / CS200b (N8100-1012) の
アップデート適用について

※Management Console のログイン後のトップ画面下部にある機種名・型番を
必ずご確認の上、本操作を行って下さい。

製品担当部門より、個別に「CS 使用メモリの固定化措置」について、案内
を受け、実施されているお客様に関しては、アップデート適用完了後に、
再度メモリ固定化措置を実施する必要があります。

行わなかった場合、メモリ固定化がされなくなりますので、ご注意ください。
詳細は、製品担当部門 (PP サポートサービス) にお問合せください。

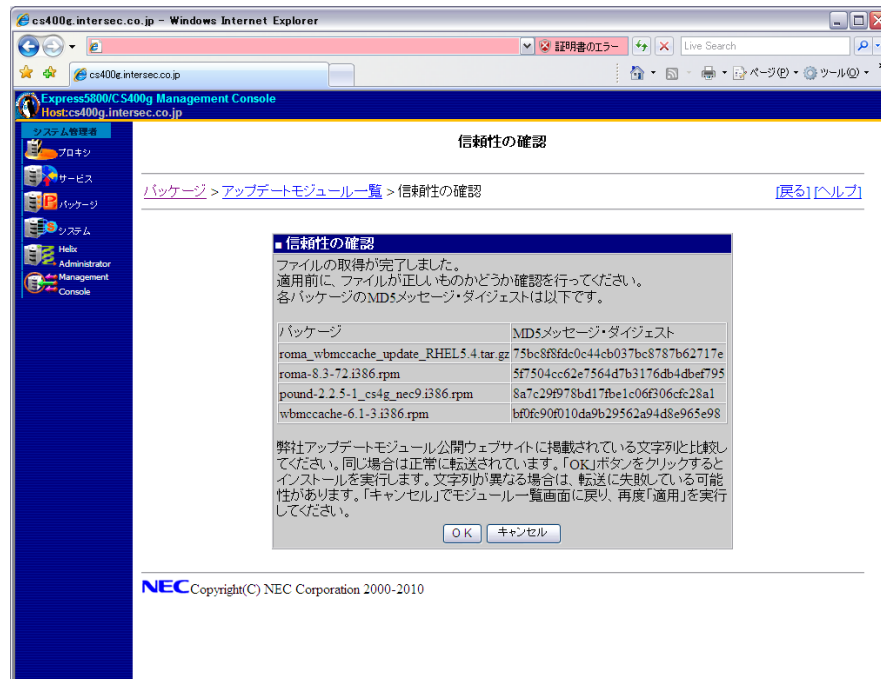
※本件は、製品担当部門より、個別に「CS 使用メモリの固定化措置」をご案
内しているお客様が対象となります。
標準の状態でご利用の環境に関しては、該当いたしません。

(6) 信頼性の確認画面

適用対象となるモジュールが信頼できるものか確認するための画面が表示されます。

アップデートモジュールは適宜更新されます。そのため表示される画面は図6とは異なる可能性があります。

図6. 信頼性の確認画面例



注意：

この画面が表示された場合は、信頼性の確認が正常に行われています。
[OK]をクリックして次へお進みください。

(7) アップデートの完了

アップデートが正常に完了した場合には以下のような操作結果通知画面が表示されます。(図7) アップデートが失敗したメッセージが表示された場合は、(2) から再度実行してください。

図7. 操作結果通知画面例



(8) キャッシュサーバの再起動

(7) でシステムの再起動が必要なメッセージが表示された場合には、画面左のメニューから、**[システム]**をクリックしてください。
[システム]画面(図8)が表示されます。

図8. システム画面



[システムの再起動]をクリックしますと、システムの再起動が行われます。
 再起動には数分かかります。

補足：

アップデートモジュールを実際に適用するのは、システム再起動時となりますので、システム再起動を行うまでは適用前のモジュールで通常通り動作します。
 アップデートモジュールの適用だけを先に実施し、システム再起動はアクセスが少ない時間帯(深夜)等に行うことも可能です。

(9) モジュールのアップデートの確認

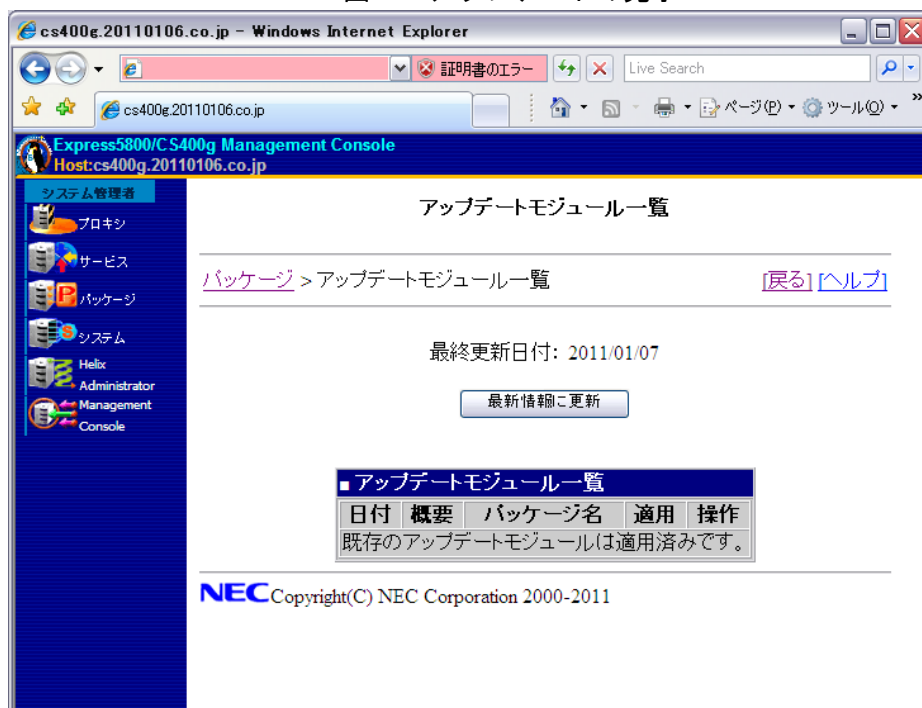
(8) までの作業が終了したら再度アップデートモジュール一覧画面を開きます。適用したモジュールがアップデートモジュール一覧に表示されていなければ、アップデートは正常に終了です。

正常にアップデートされたモジュールは今後アップデートモジュール一覧画面に表示されることはありません。

未適用のモジュールがアップデートモジュール一覧画面に存在する場合には(5)から(8)の手順で未適用モジュールを適用してください。

以下の画面(図9)が表示されるとモジュールのインストール作業は全て完了です。

図9 アップデートの完了



以上でアップデート作業は終了です。

4. アップデート適用済み環境で再セットアップとリストアを実施する際の注意事項

注意：

アップデートモジュールが適用済みの環境で再セットアップとリストアを行う際は、**モジュールのバージョンと設定ファイルのバージョンを合わせる必要があります。**
 下記の手順により再セットアップとリストアを実施してください。

<事前準備>

再セットアップ後にリストアを行う場合は、事前に Management Console の「システム」→「バックアップ/リストア (図 10)」にて、バックアップを実施します。
 ※詳細は、同画面右上の[ヘルプ]をご確認ください。

図 10. バックアップ/リストア画面



(1) システムの再セットアップ

システムの再セットアップに関する手順等は、バックアップ DVD に付属の「ユーザズガイド (ソフトウェア編)」の【システムのセットアップ→再セットアップ】をご確認ください。

(2) リストア

- ・ リストアを行う場合は、Management Console の「システム」→「バックアップ/リストア (図 10)」にて、リストアを実施します。
 ※詳細は、同画面右上の[ヘルプ]をご確認ください。
- ・ リストアを行わない場合は、手順 (3) へ進んでください。

注意：

リストアを行う場合は、必ずアップデート適用前に実施してください。
 また、(3) のアップデートを適用するまでは、絶対に設定変更やシステム再起動を行わないでください。

(3) アップデート適用

バックアップを行った際に使用していたモジュール、もしくは、使用していたモジュールよりも新しいモジュールを適用します。

注意：

基本的には、作業時に公開されているアップデートモジュールを適用することで整合が取れますが、個別提供等で公開モジュールより新しいモジュールを使用されている場合は、必ずそのモジュールを適用してください。

(4) キャッシュサーバの再起動

画面左のメニューから、[システム]をクリックしてください。
[システム]画面(図 1 1)が表示されます。

注意：

システム再起動を行うまでモジュールと設定ファイルの整合が取れませんので、
アップデート適用後はすぐにシステム再起動を行ってください。

図 1 1. システム画面



[システムの再起動]をクリックしますと、システムの再起動が行われます。
再起動には数分かかります。